

(12) 愛南ブロック(愛南町)

～産地づくり～

主力品目「河内晩柑」を中心としたかんきつ産地の維持・発展を目指し、生産基盤や生産体制の強化を図りつつ、多様化する消費者ニーズに対応した加工品の開発や新たなマーケット開拓など出口を見据えた販売戦略を進め、ブランド力向上に取り組みます。また、水田の有効利用と農業所得の向上を目指し、「ブロックリー」による長期安定出荷のできる産地づくりや、地域の特色を活かした高収益野菜の振興と定着に取り組みます。

～推進品目や産地づくりの方向～

○「河内晩柑」を核とした果樹産地強化と農産加工へのチャレンジ

1 老木園地の改植や新植による生産基盤強化及び省力化と高品質生産による生産体制強化

【取組】

- ① 南予地域果樹産地協議会南宇和支部が主体となり、果樹経営支援対策事業を活用し、地域に適した柑橘品目を推進(改植)
- ② カットバック処理による大樹の再生試験を継続
- ③ 強樹勢の自根発生樹の自根傷入れ試験を継続
- ④ 縮間伐を実施

【成果】

- ① 果樹経営支援対策事業 申請：6件

《内訳》河内晩柑：440本、レモン(アレンユーレカ種)：390本、
愛媛果試第28号(紅まどんな)：80本、ボンカン135本

R6：河内晩柑：490本、レモン(アレンユーレカ種)：83本、
愛媛果試第28号：130本、ボンカン：34本、

R5：河内晩柑：458本、愛媛果試第28号：292本

- ② R4実施樹の果実において、果重(g/個)が対照区と比較し減少したのに対し、着果数(個/樹)の増加を確認

- ③ ・R5～7年の樹容積比 自根傷入れ樹：190%

(対照樹：225%)

- ・夏秋梢発生抑制効果確認 自根傷入れ処理区：63本

(対照区：112本)

- ④ 縮間伐実施園：3か所 30a

[R6：2か所 20a、R5：5か所 56a、R4：7か所 85a]

2 大久保山ダム等を水源とするかんがい施設の長寿命化対策や老朽化したため池の改修

【取組】

- ・山の神池について、改修完了

【成果】

- ・令和6年度中に、事業完了(9/5)

3 御荘平山地区の柑橘生産振興

【取組】

- ① 用水路について、国道北側南側の用水路工事を実施
- ② 農道について、国道南側の2号農道の用地買収を継続

【成果】

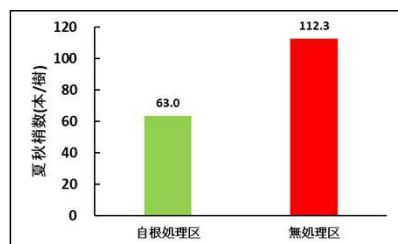
- ① 用水路について、国道北側南側の用水路工事を継続中
- ② 農道について、国道南側の2号農道の用地買収を完了、農道工事を着工



カットバック実施前



カットバック実施後



自根処理・未処理夏秋梢数



山の神池整備完了



農道工事中

○「河内晩柑」を核とした果樹産地強化と農産加工へのチャレンジ

4 整備計画のある農産物加工場への安定的な原料供給から加工品の製造及び生果を含めた国内外への販路開拓

【取組】

- ① 河内晩柑の消費拡大及び認知度向上を目的に、
 - ・愛南町農業支援センターが搾汁
 - ・冷凍果汁について、酒造・飲料メーカー等へ供給
- ② 国内での河内晩柑フェアの実施
- ③ 生果加工メーカーへ、生果の供給
- ④ 欧州輸出事業を実施
- ⑤ 南宇和高等学校農業科で取得している、河内晩柑等のグローバルGAPライセンスの維持

【成果】

- ①
 - ・河内晩柑冷凍果汁の販売量：14.2t
〔R6：19.7t、R5：14.3t、R4：7.9t〕
 - ・既存缶チューハイ商品の売れ行きが好調であり、果汁を介して、愛南町産河内晩柑の消費拡大に寄与
 - ② 北海道（4/26～）、都内高島屋（4/25～）、東北（5/17～）で、愛南ゴールドフェアを開催し、生果を販売：計14.5t
〔R6：20.3t、R5：22.3t、R4：13t〕
 - ③
 - ・東京の有名かき氷店2社に、シロップ等加工原料用で生果を販売：1.5t〔R6：3t、R5：3.5t〕
 - ・全国展開する洋菓子店に生果を販売：4.8t
 - ④ 食ブランドマーケティング課主導により
 - ・フランス、スイス及びベルギーに対して、愛南町産「misho」のプロモーションを展開
- 《R7輸出実績》
- ・スイス向け 生果：8t
 - ・フランス向け 生果：50kg
〔R6：生果4.6t、果汁280kg、R5：生果1.6t、果汁90kg ※合計〕
- 《R8出荷に向けて準備中》
- ・スイス、フランス向けに準備中
 - ・グローバルGAPについて、本審査（2/3～4）を終え、令和7年度中に認証取得予定
- ⑤ 南宇和高等学校において、GLOBALG.A.Pの内部監査を1月に実施、3月に認証継続予定

5 ポスト「甘夏」対策としての「レモン」や県オリジナル品種の導入

【取組】

- ・JA推進品目・果樹経営支援対策事業対象品目である「レモン」「愛媛果試第28号（紅まどんな）」「甘平」「愛媛果試第48号（紅プリンセス）」の植栽を推進

【成果】

- ・「レモン」：305本
〔R6：211本、R5：34本、R4：169本、R3：294本〕
- ・「愛媛果試第28号」：479本
〔R6：193本、R5：292本、R4：411本、R3：496本〕
- ・「甘平」：23本
〔R6：120本、R5：24本、R4：202本、R3：153本〕
- ・「愛媛果試第48号」：217本
〔R6：116本、R5：89本、R4：606本、R3：1,300本〕

の苗木を植栽

※JAえひめ南 南宇和営農センター管内：R8春苗集計



輸出果実浸漬作業



高島屋販促活動



河内晩柑を使用したかき氷



パリ：ランジス市場に於いて「misho」をPR



GLOBALG.A.Pの審査状況



「愛媛果試第28号」改植現場確認

○「ブロッコリー」の産地強化

1 更なる産地拡大に向けた秋から春にかけての作型分散および省力化や軽労働化技術の導入

【取組】

- ① 新規栽培者確保による産地拡大
- ② 適品種選定実証 春作：1品種、秋冬作：2品種
- ③ ブロッコリーの後作となる水稻の品種について、「コシヒカリ」に代わり、倒伏しにくい「にじのきらめき」の導入
- ④ 栽培時における
 - ・ドローンによる防除効果の実証
 - ・現地巡回結果を基とする出荷量予測モデルの検討
 - ・育苗施設における灌水管理指導

【成果】

- ① 新規栽培者：3戸〔R6：3戸、R5：3戸〕
- ②
 - ・秋冬作1品種「はつみらい」選定。既存品種に比べ品質良好
 - ・春作品種1品種栽培調査中
- ③
 - ・R8年度「にじのきらめき」の作付け面積98haに伴い、「にじのきらめき」後のブロッコリー新規栽培者推進を行うため、野菜部と稲作部合同役員会を開催
 - ・2部会での協力体制を強化した上で、「ブロッコリー+にじのきらめき」の二毛作収益性モデルを提示し、今後、広報誌や講習会で推進
- ④
 - ・夏秋作でのドローン防除の有効性を実証した結果、試験区で虫害が増加したものの、収量性は慣行と同程度で有効性を確認
 - ・殺菌・殺虫剤のドローン混用散布試験を併せて実施した結果、薬害は発生せず、防除効果を確認
 - ・農研機構が開発中の出荷予測ツールを試験運用中
 - ・育苗時の早朝重点のかん水管理を指導した結果、昨年に比べて苗質は改善傾向

2 難防除病害対策および排水対策

【取組】

- ① 根こぶ発生圃場において、土壌分析診断の実施及び巡回指導
- ② 花蕾の病害を抑制すべく、防除や排水等に係る個別巡回指導と、講習会による本技術指導

【成果】

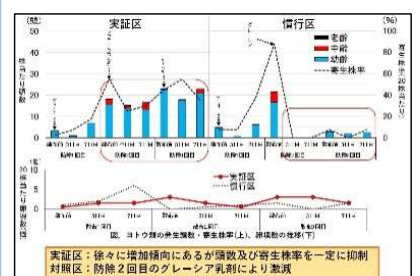
- ① pH矯正のための土壌分析を実施：2戸 222.1a
- ② 個別巡回指導と、3回の講習会（7月：28戸、8月：13戸、12月：22戸）を通じ、花蕾病害の発生を抑制



ブロッコリー栽培講習会



ドローンによる農薬散布



ドローン防除での有効性確認



ブロッコリー収量調査

○水田の有効利用による地域野菜の生産拡大

1 「なす」「しょうが」「さといも」「スイートコーン」や施設野菜の「青ねぎ」の生産振興

【取組】

- ①
 - ・なす、さといも、スイートコーンで、講習会を開催
 - ・しょうがは個別巡回を主体に、栽培技術・病虫害対策を指導
- ② 青ねぎ（2法人）については、疫病を中心とした防除指導や、経営相談を実施

【成果】

- ①
 - ・なす 栽培面積：24a〔R6：24a、R5：18a、R4,3：37a〕
 - ・しょうが 栽培面積：136a〔R6：250a、R5：230a、R4：428a、R3：458a〕
 - ・さといも 栽培面積：8.9a〔R6：9a、R5：62a、R4：123a、R3：87a〕
 - ・スイートコーン 栽培面積：80a〔R6：77a、R5：99a、R4：61a、R3：76a〕
- ②
 - ・青ねぎ（1法人）が建設した育苗ハウスにより、ハウスねぎの初期生育を含め収量が増大
 - ・他1法人は、人手不足のためカンボジアから10人（特定技能4人、技能実習生6人）受け入れし、面積維持拡大に注力



しょうが栽培ほ場

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や新規参入企業等の定着支援に取り組みます。優良な農地を維持・活用するため、中心経営体や集落営農組織の育成・法人化を進め、地域農業基盤と地域コミュニティの維持を図ります。また、女性の起業活動や農業経営への参画を支援し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。農業・農村の魅力を活かしたグリーン・ツーリズムやイベント等に取り組み、交流人口の増加と地域の活性化を図ります。

～推進対象や地域づくりの方向～

○新規就農者の確保・定着支援

1 就農希望者の円滑な就農を支援

【取組】

- ① JA・県・町が連携し、就農希望者との面談を行い、研修や給付金等の制度について説明
- ② 南宇和高校生に対し、「探求の時間」授業を利用した地域農業の魅力発信

【成果】

- ①
 - ・就農相談：2件〔R6：1件、R5：6件、R4：10件、R3：16件〕
 - ・新規就農準備研修生：3人〔R6：3人、R5：3人、R4：3人、R3：2人〕
 - ・新規就農者：1人〔R6：2人、R5：3人、R4：3人、R3：2人〕

- ② 河内晩柑を使った2つの加工品を試作し、商品化に向け検討

2 新規就農者の経営開始後の課題解決および営農定着の支援

【取組】

- ① JA・県・町等の関係機関による個別巡回を行い、営農・経営状況の把握に努め、栽培技術や経営管理等を指導
- ② 地域や集落を支える次世代の農業人材育成
- ③ 自己研鑽や仲間づくり、情報交換の機会となる、青年農業者組織の活動として、各種研修会を実施

【成果】

- ①
 - ・営農状況現地確認：年2回（対象：新規就農者 上半期12人、下半期13人）
 - ・就農定着率（就農5年以内）：100%
- ② 規模拡大・法人化志向農家3戸に対し、優良経営体の取組事例や外国人雇用、労務管理に関する研修会を実施し、法人化へ意欲向上
- ③ 各種研修会の開催：8回（参加者：延べ68人）

3 JA等による研修生の受入

【取組】

- ①
 - ・担い手育成事業を活用し、河内晩柑の栽培に係る実践形式の研修を実施
 - ・町と連携した研修募集実施
- ②
 - ・就農準備研修生に対し、栽培技術の習得のため、技術指導等を実施
 - ・各研修会・先進地視察等へ参加

【成果】

- ①
 - ・新規研修生：3人（JA研修：1人、農業指導士による研修：2人）
 - ・河内晩柑（2.8ha）、ブロッコリー（5a）で栽培研修
 - ・椎茸の栽培を希望する研修者に対し、対応
 - ・県内就農相談会へ参加
- ②
 - ・研修園内研修、JA研修会・講習会開催
 - ・研修園地での生産品をイベント等で販売（PR活動・販売研修）
 - ・就農時の園地候補・中古農機具等の調査を実施

4 次世代リーダー育成のための青年農業者組織への加入推進及び組織活動支援

【取組】

- ① 新規就農者を対象に青年農業者組織への加入を推進
- ② かんきつ生産者を対象に研修会や勉強会を開催し、知識・技術の研鑽を促進

【成果】

- ① 新規会員：2人（R8年度会員見込：29人）
- ②
 - ・研修会等の開催：4回（参加者：延べ40人）
 - ・若い生産者の栽培、防除技術が向上



南宇和高校生が加工品開発を学ぶ



新規就農者へ営農状況の聞き取り



青年農業者園地視察

品名	数量	単位	備考
トラクター	1	台	
耕耘機	1	台	
播種機	1	台	
施肥機	1	台	
収穫機	1	台	
乾燥機	1	台	
選果機	1	台	
包装機	1	台	
灌漑機	1	台	
防除機	1	台	
剪定機	1	台	
刈払機	1	台	
草刈機	1	台	
除草機	1	台	
施肥機	1	台	
播種機	1	台	
耕耘機	1	台	
トラクター	1	台	

中古農機具等を情報収集



青年農業者組織による県内視察研修

○地域を支える多様な担い手の確保・育成

1 補助事業や低利融資の活用、雇用労働力確保対策等を通じた経営体の体質強化

【取組】

- ① 町内の農業雇用実態を踏まえた、労働力確保対策を協議
- ② 認定農業者等を対象とした、研修会の開催及び経営改善に係る個別スキルアップ支援
- ③ 愛南町農業支援センターが中心となり、認定農業者等に制度資金等の相談会を開催

【成果】

- ①
 - ・ 人手を確保、作業要請件数：1件（登録農家数：4戸）
 - ・ 有償ボランティア参加人数：1人
- ②
 - ・ 研修会：3回 ・ 個別経営相談：26回
 - ・ 簿記記帳研修会：7回（参加者：延べ23人）
- ③ 農業者の資金相談：11回

2 規模拡大を目指す経営体への農地集積及び法人化の推進

【取組】

- ・ 昨年度の重点支援者に対し、今後の支援について意向を確認

【成果】

- ・ 支援要望に対応する専門家を経営サポートセンターに依頼し、経営相談を実施：延べ15回（2経営体）
- ・ 不要農機具の聞き取り及び斡旋（1経営体）

3 農地を引き受ける集落営農組織の設立支援

【取組】

- ・ 菊川集落において、担い手確保・農地保全対策に係る事例調査

【成果】

- ・ 土地利用型経営事例の事例調査を実施（1回）

4 多面的機能を有する農地等の保安全管理に向けた地域ぐるみで取り組む共同活動の支援

【取組】

- ① 多面的機能支払交付金の事業を活用すべく、活動対象面積維持や、農地や道水路などの保全を推進
- ② 中山間地域等直接支払交付金により、農業生産活動の継続を支援し、耕作放棄地の発生防止や多面的機能の確保を推進

【成果】

- ① 多面的機能支払交付金：378ha（活動組織：13）
- ② 中山間地域等直接支払交付金：319ha（協定数：35）

5 地域で活躍する女性農業者による組織活動の活性化及び経営ノウハウの習得支援

【取組】

- ・ 各種研修会や視察研修を実施し、農業経営への参画に向けた意識啓発を推進

【成果】

- ・ 農村女性組織：1組織
- ・ 研修会等の開催：5回（参加者：延べ21人）

6 6次産業化やグリーン・ツーリズムに取り組む個人や組織への支援

【取組】

- ① 6次産業化の研修会や視察研修を実施し、加工品の技術や知識に関する研鑽を促進
- ② グリーン・ツーリズムにおける体験活動を通じ、情報発信や消費者との交流を促進

【成果】

- ① 河内晩柑を利用した調理研修を実施：2回（参加者：延べ42人）
- ②
 - ・ グリーンツーリズム体験：4回（参加者：延べ138人）
〔京都府立洛水高校の他、3校の修学旅行で民泊を受入れ、
石窯ピザ焼き体験や真珠アクセサリー作り体験を実施〕
 - ・ 河内晩柑ジュース提供による消費者交流：1回（参加者：23人）



認定・青年農業者が
石積み方法を学ぶ



農業簿記記帳研修会



菊川集落が農地保全
対策事例調査実施



協定に基づいた
農道維持管理作業

○鳥獣害対策の推進

【取組】

- ① 各種補助事業を活用した鳥獣害防止対策（侵入防止柵の設置）の推進
- ② 銃猟・わな免許取得者の確保
- ③ 有害鳥獣捕獲を推進

【成果】

- ① 防護柵設置：8.8km

〔R6：8.5km、R5：3.2km、R4：17.8km、R3：12.2km〕

- ② ・銃猟免許新規取得者数：2人

〔R6：2人、R5：1人、R4：4人、R3：0人〕

- ・わな猟免許新規取得者数：6人

〔R6：6人、R5：7人、R4：9人、R3：11人〕

- ・網漁免許新規取得者数：1人〔R6：1人〕

- ・狩猟者登録数 合計：140人

〔R6：138人、R5：144人、R4：144人、R3：145人〕

うち わな：92人

〔R6：90人、R5：91人、R4：93人、R3：90人〕

第一種銃猟：39人

〔R6：42人、R5：47人、R4：46人、R3：49人〕

第二種銃猟：7人

〔R6：6人、R5：6人、R4：5人、R3：6人〕

- ③有害鳥獣捕獲頭数：2,123頭

〔R6：2,649頭、R5：2,224頭、R4：2,751頭、R3：2,585頭〕



獣害対策のための
防護柵設置



捕獲率アップに向けた
くくり罠制作実技演習